

シソ科 ハツカ属

マルバハツカ (丸葉薄荷)

Mentha suaveolens Ehrh.

自生環境

道ばた、荒地、水辺 など

原産地

ヨーロッパ

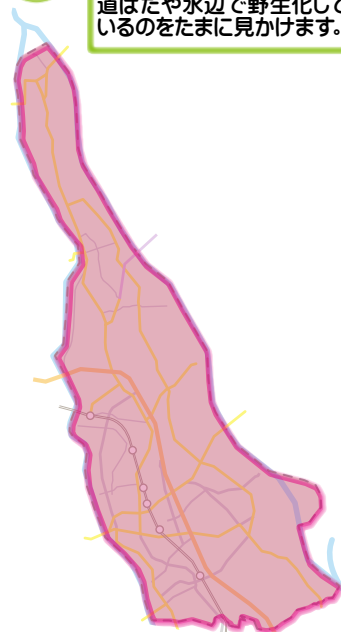
予想される被害



ちぎれた枝やわずかな根からもすぐに復活するほどの繁殖力を持っています。またこの仲間は雑種ができやすく、在来種のハツカとの間で交雑してしまうおそれがあります。

市内の分布状況

道ばたや水辺で野生化しているのをたまに見かけます。



特徴

- ☆ ヨーロッパ原産の多年草で、香りを楽しむハーブとしてアップルミントの名前で広く栽培されています。繁殖力が強く、地下茎を盛んに伸ばして、あたり一面を覆う勢いで増えていきます。
- ☆ タネではあまり増えませんが、ちぎれた枝から簡単に再生するため、ときどき野生化します。葉は丸っこく、表面はしわが目立ち、葉裏や毛には白い毛がたくさん生えています。夏から秋にかけて、茎の先に小さな花がびっしりと穂になってつきます。ただ花は葉わきにはつきません。
- ☆ 斑入りの品種はパイナップルミントと呼ばれ、アップルミント同様に広く栽培されています。またミントの仲間は交雑しやすいという性質があります。そのため品種改良が盛んで、マルバハツカの血が入った品種もつくりだされています。

ミントの野生化に注意

マルバハツカは聞きなじみがないかもしれませんが、じつはアップルミントの日本名です。ミント特有のスーッと青りんごのような甘酸っぱい香りが人気のハーブです。一方でミントの仲間は、ちぎれた枝を水や土に挿しておくと、そこから発根して再生するほどの繁殖力の持ち主でもあります。庭で育て楽しむときは、剪定した枝を適切に処分して、野生化させないように気をつけたいところです。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

